NPO法人江川エコフレンドの アドプト・プログラムの取組み

NPO法人江川エコフレンド

理事長　瀬尾　規子

吉野川
阿波中央橋
江川湧水源
吉野川遊園地跡
吉野川医療センター
多津美橋
鴨島一中
江川・鴨島公園
ＪＲ鴨島駅
国道３１８号

江川湧水源の位置、

江川湧水源

1985年3月に環境庁から全国名水百選に剣山の御神水とともに指定されました。

満々と清らかな湧き水が出ている「江川湧水源」

1954年、江川の水温異常現象（夏10℃、冬20℃）が県の天然記念物に指定されました。

江川エコフレンドは、江川と吉野川及びその周辺の環境美化・保全活動を実施することにより、
名水百選の江川の水源を守り、
昔ながらの清流を取り戻すことを目的として、地域住民と中学生たちが一緒になって、
環境の保全を図る活動、
まちづくりの推進を図る活動、
青少年の健全育成を図る活動を行っている。

◆活動の趣旨と活動内容

名水百選の江川の水源を守り，江川流域の清掃活動をするとともに，昔の清流をとりもどすために，住民・行政・企業が三位一体となって，さまざまな取り組みを行う。

設立：平成12年８月
　　（平成18年１月にNPO法人設立）

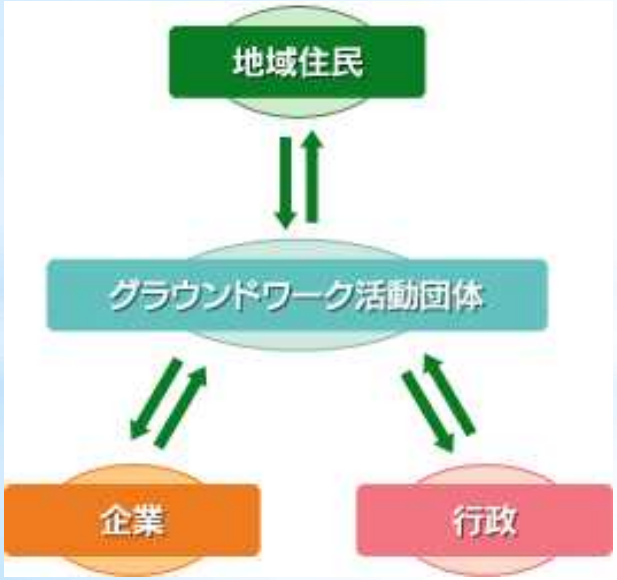
定例清掃活動：毎月１日
　6:30～7:30 江川湧水源周辺
　7:00～8:00 多津美地区（多津美橋～鴨島公園）

会員：約４0名、10代～80代

活動参加者：50名～100名（2019年10月で17500人超）

アドプト・プログラム参加：
　①アドプト・プログラム吉野川（国の河川）
　②徳島OURリバーアドプト　（県の河川）

◆江川エコフレンドの活動の原点
名水百選の江川の水源を守り、昔の清流をとりもどそうという熱い思いを持った町民がボランティアで江川流域の清掃活動を行っている。
＜住民・行政・企業＞によるパートナーシップ（グラウンドワーク）



◆**グラウンドワーク**は、地域の再生と活性化に向けて、住民・企業・行政といった多様な地域主体とパートナーシップを形成し、地域の力を結集させ、豊かな資源を掘り起こし、それを活かしつつ継続的に地域環境の改善に取り組んでいます。

清掃前の江川湧水源

清掃後の江川湧水源

2000年8月から毎月１日朝１時間清掃活動

アドプト・プログラム吉野川

2001年12月に契約、河口から26.4km～27km、600m

ごみ袋を持って、アドプト・プログラム吉野川（堤防）に向かいます

午前6:30～7:30

アドプトプログラムで集められたゴミの分別作業

回収は吉野川市

◆アドプトプログラムとは

地元企業や住民が、地元の道路や川の土手のような公共物を自分たちの養子（Adopt＝養子にする）とみなし、定期的に空き缶拾いなどの清掃作業を行う、アメリカ生まれのボランティア制度です。

日本では、平成１０年に徳島から始まり、全国に拡がりました。

●吉野川でのアドプトプログラム

名称：「アドプト・プログラム吉野川」

主催：吉野川交流推進会議

開始：平成１１年

●江川でのアドプトプログラム

名称：「徳島OURリバーアドプト」

主催：徳島県

開始：平成１３年

◆アドプトプログラムの効果（河川）

①河川の環境が美しく保たれるほか、流域の河川環境の保護意識が高まる。

②活動状況を周知することにより、ゴミ・空き缶等の投げ捨てを減らし、散乱ゴミを抑制する効果が期待できる。

③美しい川のイメージを高め、川と生活との共生が図られる。

活動前の多津美地区

活動後の多津美地区

徳島OURリバーアドプト

多津美地区の清掃活動

中学生がゴミを分別

回収ゴミの量は、毎回報告しています。

学校内のごみも

少なくなりました

流しソーメン朝食会

年１～２回地域住民と中学生が交流しています。

日本三大河川シンポジウム参加の皆さんです。（2015年8月、台風後で増水しています）

渇水期に行っている川底の清掃作業「クリーン・ウォークｉｎザ・江川」で回収した川底のごみ（市の２ｔパッカー車と軽四トラックが満載でした）

ご清聴ありがとうございました

NPO法人江川エコフレンド
理事長　瀬尾　規子